

日本アクチュアリー会 第62回 IT 研究大会 プログラム

2月13日版

2023年2月17日(金)



公益社団法人 日本アクチュアリー会
Think the Future, Manage the Risk

目次

日程 2月17日（金）

開会式	1
IT 関係優秀論文の表彰	1
技術グループによる技術紹介	1
IT 研究会活動報告	2
最新 IT 技術調査・研究	6
Zoom による配信動画視聴方法	8
諸連絡	10

開会式

開会の辞	儀賀 信利 君	（IT 委員長）
挨拶	上田 泰史 君	（日本アクチュアリー会 理事長）

※「開会の辞」「挨拶」は大会専用ホームページに文書を掲載しご紹介のみとなります。

IT 関係優秀論文の表彰

- 大会専用ホームページにて受賞論文をご紹介いたします。

技術グループによる技術紹介

- 技術グループ 2 社（日本 IBM 株式会社、株式会社日立製作所）による、先端技術等を紹介したホームページへのリンクを大会専用ホームページに掲載いたします。

- IT 研究活動報告は Zoom による動画配信で実施いたします。事前登録後に自動配信される登録完了メールの「[ここをクリックして参加](#)」または URL をクリックしてご参加ください。事前登録方法については、「[第 62 回 IT 研究大会のご案内](#)」をご参照ください。
- 動画配信は 2 度実施しますが、第 1 回と第 2 回は同内容です。ご都合のよい時間帯にご参加ください。
- 質疑応答はメールにて実施致します。動画の内容に関する質問がございましたら、大会専用ホームページに記載の問い合わせ先までお問い合わせください。
- ウェビナーID・パスコードを Zoom アプリに入力することにより参加も可能ですが、事前登録がお済みでないとは参加できませんので、必ず事前登録をお済ませください。また、ウェビナーID を利用して参加する場合、事前登録で入力したメールアドレスと Zoom アカウントのメールアドレスが一致している必要がありますのでご留意願います。

※動画配信を行う時間帯は、大会専用ホームページにアクセスしづらくなる可能性があります。その場合、ウェビナーID・パスコードは下記を参照ください。(大会専用ホームページに記載されているものと同じものです。)

第 1 回 (10:30～11:50)

ウェビナーID: 892 4240 6085

パスコード: 71203202

第 2 回 (17:00～18:20)

ウェビナーID: 844 7216 5138

パスコード: 71203203

IT 研究会第 1 グループ

1. ローコード／ノーコードによるシステム構築への取組み

担当委員

山本 直彦 君	(富国生命)
神山 祐子 君	(太陽生命)

研究メンバー

古株 沙耶花 君	(住友生命)	土方 寿々乃 君	(損保料率機構)
田中 優歩 君	(富国生命)	谷村 卓哉 君	(全共連)
宇藤 友秀 君	(太陽生命)	染谷 翼 君	(MS&AD システムズ)
中川 雅史 君	(太陽生命)	川口 悟 君	(ニッセイ情報)
井口 雄太 君	(メディケア生命)		

■要旨

近年のDX推進による業務のデジタル化推進等を背景に、保険業界においても顧客からの様々な要求や変化する社会環境への対応等、限られた資源での早期で安価なシステム開発が求められている。このような状況の中、プログラミング知識がほとんどなくてもシステム開発が可能となるローコード・ノーコードが注目されている。

我々第1グループでは、ローコード・ノーコードの現状や活用動向、保険業界における現状や課題といった視点で整理し、ローコード・ノーコードの導入や導入後の課題解消に向けての対応策を提言する。

IT 研究会第 2 グループ

2. 保険会社が選択すべき IT インフラの研究

担当委員

長瀬 正憲 君	(トーマツ)
村本 尚平 君	(ニッセイ情報)

研究メンバー

外山 真之 君	(明治安田生命)	長橋 太一 君	(全共連)
溝口 康平 君	(大同生命)	中川 大志 君	(全共連)
齋藤 桃香 君	(ジブラルタ生命)	堤 唯顕 君	(全共連)
堂本 善明 君	(ジブラルタ生命)	西田 俊樹 君	(ニッセイ情報)
松永 一朗 君	(アクサダイレクト生命)	椎谷 聡 君	(第一生命)

■要旨

世の中一般の流れとして「これからのITインフラはクラウドへリフト&シフトするものである」という考え方が既定路線となりつつあるが、一部ではオンプレ回帰の動きもでてきている。こういった背景がある中で、保険会社としてはクラウド/オンプレの2択ではなく、脱ホスト・クラウド化の是非も含めて、業界・業務特性を踏まえたITインフラを選択する必要がある。

我々第2グループでは、「保険会社の特性」並びに「クラウド(PaaS/IaaS/SaaS等)、オンプレ、ハイブリッドといったITインフラ特性」について分析を行い、保険会社が選択すべきITインフラについて提言する。

IT 研究会第 3 グループ

3. システム開発の海外委託の効率的活用とリスク管理

担当委員

竹内 仁 君 (第一生命情報システム)
森谷 雅史 君 (三井住友信託)

研究メンバー

大橋 広宣 君	(大樹生命)	梶 貴行 君	(あいおいニッセイ同和損保)
作田 祐介 君	(ジブラルタ生命)	明石 栄超 君	(AIG 損害)
植竹 見枝 君	(ジブラルタ生命)	吉岡 楓 君	(第一生命情報システム)
舟生 雄大 君	(SOMPO ひまわり生命)		

■要旨

保険会社の IT 部門では「IT 人材の安定的な調達」「システム開発費用の削減」「デジタル化・新しいテクノロジーの活用」などの課題を抱えており、これらに対してはシステム開発の海外委託（オフショア開発）が一つの有効な解決策として考えられる。

一方、近年は政治情勢、公衆衛生、個人情報保護、サイバーセキュリティ、為替変動などのリスクが顕在化してきており、オフショア開発の大きなリスクとなっている。

我々第 3 グループでは、オフショア開発の現状、これまでオフショア開発を阻害してきた課題や近年関心が高まっている課題について調査し、今後の効率的な活用方法とリスク管理について提言する。

IT 研究会第 4 グループ

4. IT を活用したサステナビリティへの取り組み

担当委員

三原 洋一 君 (三菱 UFJ 信託銀行)
勝海 宏 君 (プルデンシャル生命)

研究メンバー

松崎 優希 君	(大同生命)	野崎 友里 君	(プルデンシャル生命)
上原 美咲 君	(アフラック生命)	森 達哉 君	(楽天命)
仲村 健吾 君	(プルデンシャル生命)	相澤 真理 君	(ニッセイ情報)

■要旨

昨今、サステナビリティの考え方をより具体化した SDGs への積極的な取り組みが、社会貢献や企業イメージの向上のみならず、新たな事業機会の創出につながっている。保険業界としても、お客様や社会からの期待に応えるためには必須であり、喫緊のものとなっている。

我々第 4 グループでは、SDGs の達成に向けた取り組みの中で、特に保険業界と IT 技術に関わりが深い「DX 人材の教育」「テレワーク」「ペーパーレス」の 3 項目について、現状及び課題の調査報告、課題解決と推進について提言する。

5. 新たなサービス創出・CX 向上に向けた協業体制と人材育成

担当委員

廣田 賢史 君 (大同生命)
大八木 文人 君 (ニッセイ情報)

研究メンバー

王 子文 君	(大同生命)	北川 実 君	(ニッセイ情報)
堀池 耕平 君	(朝日生命)	神澤 祐紀子 君	(住友生命)
中田 義彦 君	(ニッセイ情報)	岩野 竜也 君	(住友生命)

■要旨

健康増進型保険をはじめとする付帯サービスの充実を図った保険商品が多数発売されている。今後も健康寿命の延伸等に向けた付加価値の創出・CX 向上へのニーズは高まるものと考えられ、新たな価値あるサービスをスピーディーに生み出していくうえで必要なものは何か問われている。

我々第 5 グループでは、保険会社が新たな価値あるサービスをスピーディーに生み出し提供できるよう、「組織」「人材」の観点から目指すべき目標像の設定と、それに向けた現状分析／課題抽出を進めてきた。現状を「変革」し、あるべき姿に推進していく施策について、IT 部門が担うべき役割等について提言する。

- 最新 IT 技術調査・研究の発表は Zoom による動画配信で実施いたします。事前登録後に自動配信される登録完了メールの「ここをクリックして参加」または URL をクリックしてご参加ください。事前登録方法については、「第 62 回 IT 研究大会のご案内」をご参照ください。
- 動画配信は 2 度実施しますが、第 1 回と第 2 回は同内容です。ご都合のよい時間帯にご参加ください。
- 質疑応答はメールにて実施致します。動画の内容に関する質問がございましたら、大会専用ホームページに記載の問い合わせ先までお問い合わせください。
- ウェビナーID・パスコードを Zoom アプリに入力することにより参加も可能ですが、事前登録がお済みでないとは参加できませんので、必ず事前登録をお済ませください。また、ウェビナーID を利用して参加する場合、事前登録で入力したメールアドレスと Zoom アカウントのメールアドレスが一致している必要がありますのでご留意願います。

※動画配信を行う時間帯は、大会専用ホームページにアクセスしづらくなる可能性があります。その場合、ウェビナーID・パスコードは下記を参照ください。(大会専用ホームページに記載されているものと同じものです。)

第 1 回 (9:00~10:20)

ウェビナーID: 884 1294 4387

パスコード: 71203201

第 2 回 (18:35~19:55)

ウェビナーID: 854 7822 7108

パスコード: 71203204

1. 先端技術：量子コンピューティング

発表者

橋本 光弘 氏 (日本 IBM)

■ 要旨

本動画は、日本アイ・ビー・エム株式会社が提供しているオンデマンド Web セミナーの中の 1 セッションです。量子コンピューターの概要や適用領域を説明します。

はじめに、先端動向の解説を行っています。この中で、量子コンピューターの実用化に向けた IBM の取り組みに触れます。具体的には、量子コンピューターの技術概要やロードマップ、国外・国内におけるパートナーシップ状況について報告します。

次に、各インダストリーで期待される適用領域を示しています。特に、運輸業界に焦点を当ててユースケースをご紹介します。

最後に、実用化に向けた企業・組織の取り組み方の方法論を提示しています。

2. 高齢者介護予防に関する日立の取り組みと、保険サービスへの応用

発表者

鎌田 裕司 君 (日立製作所)

■要旨

世界でも有数な高齢社会である我が国において、国内マーケットにおけるシニアセグメントの重要性は増す一方であり、国内産業においてはアクティブシニアと呼ばれる、健康で活発で消費意欲も高いシニアへ効率的にマーケティングしていく必要がある。

日立では、社会参加が活発な高齢者は健康長寿であるという先行研究に着目し、シニアの社会参加行動をスマホで計測し様々な産業分野の企業と連携することで多くのシニアに社会参加のきっかけを与えるようなコンテンツを提供するサービスを検討している。

本講演では、このシニア向け新サービス「社会参加のすゝめ」のご紹介と、本取り組みを通じて得られるデータなどの保険業界での活用について展望を述べる。

3. 量子コンピューター活用の保険業界における展望

発表者

三橋 和利 氏 (アクセンチュア)

■要旨

ムーアの法則の終焉、データ処理ニーズの一層の高まりを受け、新たな原理を用いた次世代コンピュータの一つとして量子コンピュータの開発が加速している。

一方、量子コンピュータの導入コストは高く、動作にあたっては専門家のサポートが必要であるが、近年では定期・低価なサブスク利用が可能となった。

これらの背景を受け、金融領域での実用化に向けた検討が進んでおり、数十億円/年の効果創出に向かっているユースケースもある。保険領域の他社事例では、資産運用や保有リスクの最適化などが挙げられる。

保険会社におけるこの技術の活用の展望について、海外社の動向や他社事例から得られた示唆と課題・難所について触れながら、展望について論じたい。

Zoom による配信視聴方法

1. Zoom ウェビナーログイン方法

- 登録後に自動配信される登録完了メールより Zoom ウェビナーにログインいただけます。
- 登録完了メールの「ここをクリックして参加」または URL をクリックすると Zoom が起動します。画面中央にポップアップが表示されましたら「コンピューターでオーディオに参加」をクリックしてウェビナーにご参加ください。
- 初めて Zoom をご利用される場合は、予め Zoom アプリをダウンロードしておかれることをお勧め致します。Zoom アプリは、[こちら](#)からダウンロードできます。
- Zoom アプリをインストールせずに Web ブラウザでウェビナーに参加いただくことも可能です。その場合、上記 URL を Web ブラウザに直接貼り付けて Zoom Web クライアントからご参加いただけます。
- ウェビナーID を利用して参加する場合には、Zoom アプリを起動し、「ミーティングに参加」または「参加」をクリックし、大会専用ホームページ（または本プログラム）に記載のウェビナーID・パスコードを入力してください。

2. ご視聴にあたってのお願い

- パソコンでのご視聴をお勧め致します。スマートフォンからの視聴も可能ですが、スマートフォンで視聴する場合には資料が見にくい可能性がございますので予めご了承ください。
- 有線、もしくは安定した Wi-Fi 環境下でご視聴ください。
- 視聴環境下の接続状況に問題がありますと、通信が中断してしまう事がありますので予めご了承ください。

3. うまくログインできないときの対処法

(1) VPN 接続を解除する

個々の企業のセキュリティ設定によっては、Zoom へのアクセスが制限されていることがあります。VPN 接続を解除することが可能な場合は、VPN をオフにして再度接続してください。（例：Pulse Secure 等）

(2) 個人の PC もしくはモバイルから接続する

会社の PC において VPN 接続の解除が許可されていない場合、または上記の方法でも接続ができない場合、個人の PC もしくはモバイルからの接続をお願いいたします。登録確認メールを個人の PC に転送し、同じリンクよりログインしてください。個人のメールアドレスで登録しなおす必要はございません。

4. ご利用環境について

対応 OS

macOS X と macOS X(10.10)以降

Windows11 ※Windows11 はバージョン 5.9.0 以降でサポートされます。

Windows10 ※Windows10 を実行しているデバイスの場合、Windows10 Home、Pro、または Enterprise を実行する必要があります。S モードはサポートされていません。

対応デバイス（タブレット・モバイル）

iOS と Android デバイス

Blackberry デバイス

Win 8.1 以降の Surface PRO2 以降

サポートされているブラウザ

Windows: Edge 12+、 Firefox 27+、 Chrome 30+

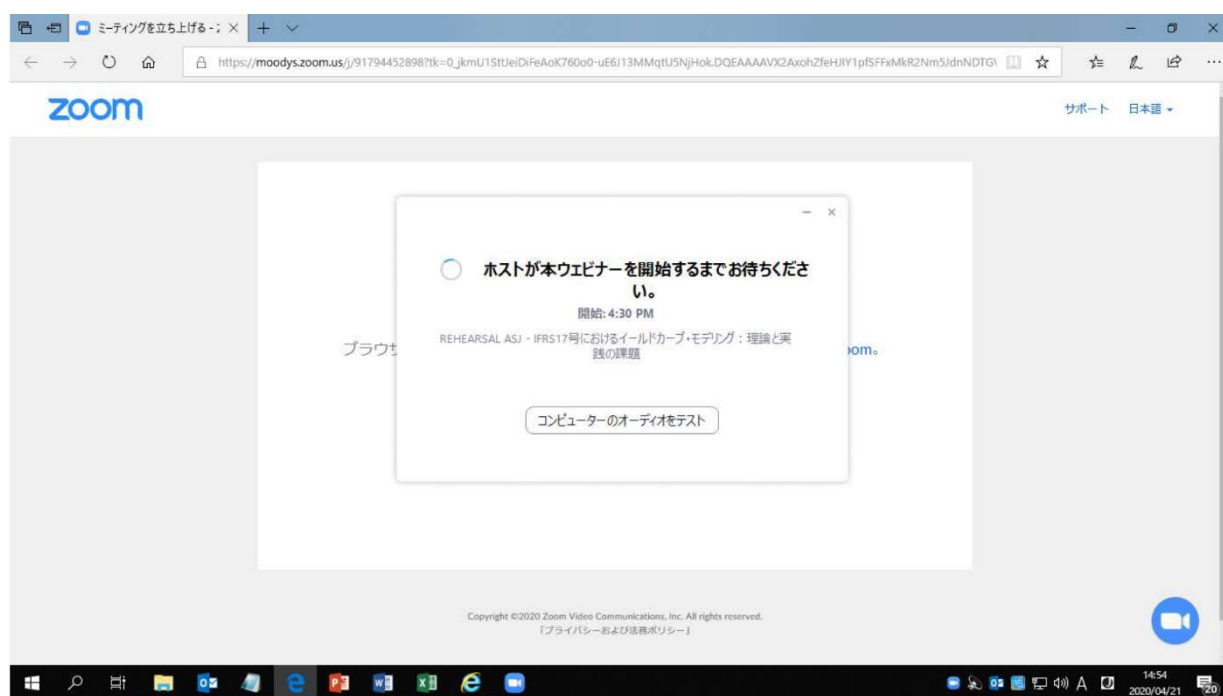
macOS: Safari 7+、 Firefox 27+、 Chrome 30+

Linux: Firefox 27+、 Chrome 30+

上記以外の OS、デバイス、およびブラウザをご利用の方は[こちら](#)をご参照ください。(日本語)

※Zoom 利用にあたっての注意点

記載の URL をクリックまたは Zoom アプリを起動してミーティング ID・パスコードを入力すると、ウェビナー開催までは以下の画面が出ますが、この状態は Zoom にログインできたわけではありません。



ログインできるかどうかは、直前までわからないこともありますので、上記 3. に記載の方法をすぐに試せるようご準備ください。

○公式 CPD 単位について

- 継続教育要綱に基づき、IT 研究会活動報告の受講は、正会員の継続教育の対象です。
- プログラムにおける 〇〇単位<〇〇> は、公式 CPD 単位数および分野を表します。

○正会員の出席確認について

- 正会員を対象に、当日のアクセス情報を用いた出欠確認を行います。事前登録の際に入力いただいた会員番号が誤っていた場合、出席の確認ができませんのでご注意ください。

○e ラーニングへの動画掲載

- IT 研究会活動報告は IT 研究大会後一定期間、e ラーニングシステムにて動画配信する予定です。公式 CPD 単位として申請する場合には、200 字程度のレポートの提出が必要です。なお、Zoom ウェビナー配信と e ラーニング（動画掲載）は同様の内容であり、重複して単位は取得できませんのでご注意ください。

○その他

- 当日の配信映像・音声の無断での録画・録音・供覧は行わないようお願い致します。